

# マザサポっこ

今回より、「マザサポニュース」から「マザサポっこ」に名称変更を行いました。リニューアルに伴い、内容も人に焦点を当てることにし、「質問」「回答」形式で楽しくコメントしてもらいました。マザーズサポーターにはこんな楽しい人たちが在籍していることを皆さんに知ってもらいたいと思います。まずは3名のマザサポ活動メンバー、ミッチャンこと木村光江さん。ねえやんこと蒲知利歌子さん。スワンけいちゃんこと高橋啓さんを紹介しします。とても個性的で素晴らしい人たちです。さてどんなコメントなのでしょう？乞うご期待。

(三人の似顔絵をつけていますがとてもとってもそっくりです。我がマザサポ・イラストレーターゆりちゃん作です。イラストも楽しんで見てくださいね。 ゆりちゃんありがとう)

## 【 ミッチャンこと木村光江さんの紹介 】

ぼっこ班(以下「ぼ」): みっちゃんは、なにものですか？

ミッチャン(以下「ミ」): 河内のおばちゃんです。

ぼ河内のおばちゃんが、何でマザサポやってはるんですか？

ミ: わたし、子どもが幼稚園から高校を卒業するまでPTAの役員を14年間やりました。そして、お母さんや先生と一緒に子どもたちを育てるという「人材育成」の原点がPTAやと思ったんですわ。そんなPTAで、なんか、みんなをサポートできへんかと思て、コーチングも勉強してたんやけど、マザサポを知って「核たるものがここにある!!」と心底、思たんすわ。お母さんも、先生も課題・問題をいっぱい抱えてる。おかあさんと先生がスクラムを組んで、子どもを育てるべきやと思たんす。

ぼ: マザサポのどんなところを一番伝えたいですか？

ミ: みんなが、自分のほんとうのところ、悩みの奥の奥に何があるのかを気づいてもらいたいんです。表面的なことではなくて、本当は何を望んでいるのかということなんです。

ぼ: ものすごく、「マザサポが好き!」というみっちゃんを感じますが、そんなみっちゃんは、何をしている時が、一番楽しいですか？

ミ: (即) もちろんマザサポです!! マザサポの集まりに来てるのが楽しゅうて、おもしろうて。今まで自分が知らなかったことや、気づくことがいっぱいあります。

ぼ: では、みっちゃんのキラいな事は何ですか？

ミ: 部屋がグチャグチャに散らかっていることです。

(むすこ! なんとかしいや!)

ぼ: 日ごろ、大事に思っていることは、どんなことですか？

ミ: う~ん、好きな言葉なら「人生に無駄なし!」

ぼ: では、お好きな色は？

ミ: 黒と白!

ぼ: どんな歌が好きですか？

ミ: 軍歌です!! 20曲は歌えます。

人情もんが大好きなんすわ。



【 ねえやんこと蒲知利歌子さんの紹介 】

ぼっこ班(以下「ぼ」): ねえやんはなにものですか？

ねえやん(以下「ね」): 私がなにものかと言うと一言では言い難いですが、「変わり者」でしょうか~(笑)  
普段の仕事は「株式会社カワイコーポレーション」という会社で財務全般、研修アシスタント&社長(夫)と二人三脚で経営してます。例えると「マッシュルームのいしづき」の部分ですね。表の目立ちやすいマッシュルームの「丸い部分」が夫、その下でそれとなく存在している「いしづき」の部分が私です。時には社員の飯炊きパパアにも変身しますよ(笑)ちなみに業務内容は介護保険にまつわる業務全般、ヘルパーステーション、住宅改修、福祉用具販売・レンタル、及びコミュニケーション研修などです。その他、研修会社で企業研修の契約アシスタントと必要があれば自社の社員へのコーチングをしています。私生活では3人の子供と夫、夫の母(数軒隣に住む)と生活しています。毎日がジェットコースターのように。

ぼ: ねえやんがマザサポを好きな訳を教えてくださいませんか？

ね: 人間のままでおれるというか。ほんとに素でおれるって事。後、その時に自分で起こっている事を誰かがレクチャーしてくれる訳ではないのに、何か答えが出て。私、この1年精神的にバランスを取るのが大変だったんですけどマザサポの中にいるうちに、自分で勝手にバランスがとれているようになった。

ぼ: ねえやんは今後マザサポやメンサポでやってみたい事などがあれば教えてください。

ね: 色んな企業で働いている人も、自分が企業人である前に一人のパーソンとして生きていることをメンターとして実感して欲しいなとそんな事を意識できるような活動を出来たらいいなと思ってます。

ぼ: ねえやんのお話の中に、息子さんがよく登場しますが、彼らとの最近の印象に残るエピソードがあれば。

ね: 唯一私の感情を大きく揺さぶる存在が長男です。つい最近も大喧嘩しました。それも本気で・・・。喧嘩が収まって冷静になっていつも思うことは、長男が私に甘えているのではなく私が長男に甘えてるから感情を押し付けてしまうんだらうなぁ・・・ということ。自分本位なのは実は私で、私がどんなことを言ってもきっと長男は受けてとめてくれると思っているんだと実感するときが多々あります。「私の理想の男性像」を作り上げようとしてしまっていたのでは?と思います。だから強くあって欲しい。懐の広い人間になって欲しい。成功して欲しいなどなど要求ばかりしてしまうのでしょうかね。

ぼ: 忙しいねえやんの息抜きの方法は？

ね: 私の息抜きの方法は、幼馴染みとのおしゃべり。その彼女とも忙しくてなかなか会う暇もありませんが、たまに会えばひたすらお互いしゃべってます(笑)一人のならドライブ。好きな音楽をガンガンかけながら大声で歌ってます。車の外から見た人には異様な光景かもしれないけど(笑)少し前は家(大阪市)近くのコンビニに行くつもりが3時間くらい走って岡山のコンビニまで行ってしまいました

ぼ: 最後に、ねえやんはリーダーシップをとるのが上手ですが、どうしたらそうなれますか？

ね: ほんとにほんとにありがとう!! とても嬉しいお言葉なんだけど、自分では自覚がなくて、昔から「よく目立つ」と言われてきたのだけど、それは体が大きいからだと思ってました。いや、マジで。実は小学校の頃はとても友達が少なくてどうすれば人が寄ってくるのだろうと考えてばかりいました。友達が少ない原因が何だったのかはよくわからないけど人の顔色ばかり気にしててるような子供だった覚えがあります。高校生の時にふと、「一生懸命ネコをかぶってよく見せようと努力して嫌われるくらいなら、素のままでいて嫌われる方がましやん」と思ったのがきっかけでネコをかぶるのをやめました。「すごい味方のいる人にはすごい敵もいるやろうし、すごい敵のいない人はすごい味方もいてないっ



て考え方がある」とある人に言われた言葉は私の生き方のターニングポイントになったかもしれないなあ……。八方美人だった私の心にグサリと刺さった言葉でした。でも、正直リーダーシップがあるかないかとそれは別問題かも？「リーダーシップ」ってこと自体がよく理解できてないんで（ (^ ^ ）

【 スワンけいちゃんこと高橋啓さんの紹介 】

ぽっこ 班(以下「ぽ」): マザサポをやっている訳は？。

スワンけいちゃん(以下「け」): いえ、元々きだちゃんに引きずりこまれたんですけどね。初マザサポは、忘年会の時で何やこの集団は…。えらい所に紛れ込んでしまったと思いましたね。で、まあまず3級の講座を受けたんです。HPを見てどんなもんやろうと思いました。

ぽ: 元々コーチングを勉強されているわけですよね。あえてなんでマザサポを受けてみようと思われたんですか？

け: コーチとして活動していく中で、自立していないコーチや、いろんな所で言い訳をする人が多いような感じがして、ちょっと関わるのが嫌だった時があったんですね。そんな時に、自立支援型と自立を押し出しているマザサポに惹かれたんです。

ぽ: 3級の講座を受けてからはどうだったんですか？

け: 「このおばちゃん達、一体何なんや!? 何でボランティアなのに、こんなにエネルギーがわいてくるの!？」と驚きましたね。元々、コーチではいくら稼げるんだろうとか、自分の経歴ではコーチ料は取れないなあと

自問自答していたんですが、改めて原点に帰らされたというか、コーチングを学び始めた頃を思い出しましたね。クライアントのどこにフォーカスをしたいのか。どこを見たいからコーチをしているのか、もう一度振り返る機会を与えてもらったと思っています。一言で言うと 純粋な思いの集まりに衝撃を受けました。そしてそれから、娘との関わり方をもう一度振り返ってみて、クライアントの本質や願望を見続ける事が、自立に繋がっていくんだという事を思い知らされました。

ぽ: マザサポをやり続けてみて、今振り返ってみてどうですか？

け: 一番重要なのは、どんな仕事でも、マザサポの立ち位置さえ持てば出来ると分かった事ですね。研修やコンサルタントで入っても、コーチングで入っても関わり方は結局は同じで、関わるスタンスを変えなくてもいいと気づけたことがよりよかったですね。



いかがでしたか? とても楽しく思いが詰まったコメントでしたね。

ミッチャン、ねえやん、スワンけいちゃん。忙しい中コメントを頂きありがとうございました。

一度会ったら忘れられない人達です。話をしたらあなたも必ずワールドに引き込まれますよ。ご用心。ご用心。

マザサポにはもっといろんな、いろーんな方が在籍しています。これからもいろんな方を紹介していきますので楽しみにしててくださいね。そしてマザサポ会員の皆さんも「我こそは!」「なんで私に話が来ない?」「あの人の話が聞きたい」などなど、自薦他薦かまいません。よろしくお願いします。

# メンサポから、今、目が離せない！

(メンサポとはメンターサポートの略称で、組織の中で能力を発揮させる関わり方や、より良い人間関係を築くための『自立型支援方法』を身につけた専門家のことを言います)

メンターサポートコンサルタント班の「昨年度の報告」と「本年度の活動方針」の報告です。

## 1. メンサポ班2006年度の活動報告

我が班は、自立型支援方法を組織に対して展開していくことを目的として活動している班活動です。当協会のメンターサポートコンサルタント1級の会員(現状=マザーズサポーター1級)が、講師として外部の組織に向けて自立型支援方法を伝える講演、研修等を実施することで、その組織の中に、メンターサポートコンサルタントを育成します。

その後、組織構成員の中に自立した人が生まれ、その人自身の周りのメンバーへの働きかけにより、その組織の中の人々が自分たちで自立した組織を創り上げ、更に維持・発展させることができることを目指していきます。2006年度は、具体的な活動の考え方、外部組織への展開の仕組みの整理を毎月の班活動(基本第四日曜日)で整理すると同時に、具体的な研修活動の展開として、昭和丸筒様等数社で、一部、具体的な研修活動を進めています。

## 2. メンサポ班2007年度の活動方針

2007年度は、従来のプログラムに加え、メンターサポートコンサルタントの組織向特別研修プログラム第一弾「The 橋」(仮称)の制作に向け、まずは集中して取り組んでいきます。そして、本プログラムを秋の研修シーズンに向けて本格的に展開できるように合同合宿で作り込みを行います。一方、組織に向けた広報活動を同時に展開し、下半期には企業での本研修プログラムの受注に向けて取り組み、2008年度の本格的展開への足がかりにしたいと考えています。

## 3. メンサポ会議とは(マザサポにはなくてはならない姫様、まさこちゃんに聞きました)

不思議な会議！これにつきますね。

毎月1回開催している会議で、笑いあり涙ありの会議です。話し合いをみっちりみっちりやるのですが、自由で、雑談交じりで、「面白いなあ〜。がっはっは〜」と笑っている間に決まっていく。みんなが色々な意見を出して、色々な経歴の中での視点が多く出て、その中で関係あるようなないようなおもしろい話もいっぱい出て、笑っていると、真面目な話も出てきたりして「よしよし。じゃあこうしよう〜」とか言っている間に、最後には「だいが決まったね！」と明るい声の理事長 喜田菜穂子のまとめがあるのです。男性人はよく、「こんな雑談の中で決まっていくんだから不思議よな〜」と首をかしげています。

みなさん、とても楽しい会議です。一度ご賞味あれ

## 最後に

まずは創刊号として、とてもシンプルな感じでのスタートとなりましたが、いかがでしたでしょうか？

今年度より、私たちも「マザサポニュース班」から「ぼっこ班」と、こちらもかわいい名称に変わり、気持ちも新たに再スタートをいたします。至らない点等あると思いますが、何卒温かい目で未永く見守っていただけたら幸いです。

これからもよろしくお願ひいたします。

ぼっこ班一同